

### トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

### 「地域に開かれた森林づくり」 ～本山国有林で「京銀ふれあいの森」開山式～



京都銀行「ふれあいの森」開山式（除幕式）



前川近畿中国森林管理局長挨拶



記念植樹

【京都大阪森林管理事務所】6月9日（土）、公益法人京都モデルフォレスト協会と協定を締結している「社会貢献の森（本山モデルフォレスト）」の森林整備活動の一環として、本山（もとやま）国有林において「京銀ふれあいの森」開山式が開催されました。

この活動は、京都銀行が京都モデルフォレスト協会、京都府、近畿中国森林管理局、京都大学・京都産業大学と連携し、本山国有林をフィールドとして「地域に開かれた森林づくり」をコンセプトとして森林保全活動に取り組むこととしています。

まず、主催者である京都銀行柏原康夫会長から、『京都銀行は地銀が各地で進める森づくり活動をさらに活性化させたいとの目的があり、「日本の森を守る地方銀行有志の会」の主催です。

2009年には「美しい森林を次世代に引き継ごう」と全国の地銀64行の頭取が集まり、環境保護への具体策等を話し合う「日本の森を守る京都サミット」を京都市で開催しました。今回の「京銀ふれあいの森」は、この運動の新たな一歩として府民の皆さんの参加によ

る森林づくりを進めていくための活動であり、将来に向かってこの運動の輪をもっと広げていきたい』と挨拶がありました。

来賓挨拶として前川近畿中国森林管理局長から「今回の活動対象となる本山国有林は、上賀茂神社等の歴史的建造物の背景に位置し、古都京都の景観の一部を形成している重要な国有林です。今後、京都銀行の皆様や家族、京都産業大学や京都大学の学生、地域の方々に参加した間伐や下刈、広葉樹林の整備等の風致の維持向上を目指した活動や地元の小学生を対象とした森林環境学習を実施する計画であると聞いており、今後の活動に大いに期待するとともに協力を行っていききたいと考えております。」と挨拶がありました。

続いて高崎秀夫頭取・京都府太田昇副知事・京都産業大学柿野欽吾理事長・京都大学フィールド科学教育研究センター柴田昌三センター長による挨拶の後、標柱の除幕式が執り行われ、その後、山頂の記念植樹会場まで歩いて移動し「ヤマザクラ」の苗木の記念植樹が行われました。

## 地域ニュース

## トライやる・ウィーク 山崎西中学校2年生10名が職場体験

【兵庫森林管理署】6月4日（月）から8日（金）までの5日間、宍粟市立山崎西中学校の2年生10名が「トライやる・ウィーク」活動として職場体験を行いました。

ふだん学校ではできないことや、生徒がやってみたいと思うことを、一週間学校を離れて存分に挑戦することから「トライやる・ウィーク」と名付けられました。

この活動は、学習の場を地域に移し地域の人々と共に一週間を過ごし、様々な体験活動や地域の人々とのふれあいを通じて、生徒の心を育てたいという思いから行われています。

当署は毎年生徒を受け入れており、今年は立木（りゅうぼく）調査や測量、広葉樹の植栽や間伐作業を体験したほか、素材生産事業の実施箇所の見学、入り込み者の多い林道沿いのクリーン活動を行いました。



植付作業



間伐作業

また、「大木の森を歩く」として、音水（おんずい）林木遺伝資源保存林の天然スギ・ヒノキの大木の森を保護林巡視活動を行いました。

予定した5日間天気にも恵まれ、職員の指導のもと真剣に取り組み、有意義な職場体験となりました。

生徒からは、「植付は難しかったけど、自分が植えた木が30年経ったら楽しみ。初めての体験で良かった。」「間伐は大変だったけど、地球環境を少しでも助けることが出来たと思う。」「とても大切な経験が出来た。仕事はしんどいことが沢山あるけど、楽しいことがあるので続けられると思った。」「とても森のことが詳しくなれたし、仕事の大変さが分かっていい経験だった。」「山崩れを復旧したり防止したりするには、沢山お金がかかるのでびっくりした。」などの感想が聞かれました。



木材生産現場の見学



倒木更新した天然ヒノキの前で記念撮影

### トライやる・ウィークとは

- ・トライする（やってみる。新たなことに挑戦する。）
- ・トライアングル（学校、家庭、地域が連携して生徒を育てる。）

## 海岸林の復興に向けて （安宅林国有林等の海岸林を調査）

【石川森林管理署】昨年3月11日に発生した東日本大震災では、3,600haに及び海岸林が被害を受け、その復興が大きな課題となっています。（独）森林総研では、被災した広大な海岸林の復興を図るため、植栽本数（従来は10,000本/ha植えが標準）の見直しを中心として、従来の海岸林造成技術を見直すことで、より効率的に海岸林を造成する技術を確立するため、気象害・防災林研究室 坂本知己室長が中心となり、今年度から調査を進められているところです。

今年度は、すでに標準より低密度で植栽された海岸林において活着状況、生育状況と立地条件を調査するため、石川県林業試験場の協力を得て、石川県が造成している海岸林や安宅林（あたくばやし）国有林等において6月13日（水）～6月15日（金）の3日間調査が実施されました。

安宅林国有林では、松くい虫の被害跡地に10,000本/ha植え、5,000本/ha植え、3,000本/ha植えのマツ人工林を造成しており、坂本室長からは「立地条件によっては3,000本/ha植え、5,000本/ha植えでも十分に生長することが確認できました。今回の調査の大きな成果だと思います。」とのコメントをいただきました。

このほかにも様々なコメントをいただき、今後のマツ林の施業を実施するうえで大変参考になる調査となりました。

今後は、石川森林管理署が造成している安宅林国有林等の海岸林のマツ林を石川県民の安全・安心な生活に資するだけでなく、被災した広大な海岸林の復興に貢献できるように、適時適期に施業を実施していくとともにその施業に関するデータを収集し、海岸林の見本林となるよう努力していく考えです。



海岸林造成地 (3,000本/ha)



海岸林 (10,000本/haで列状間伐実施)

## 紀泉高原国有林で 「第38回クリーンハイク」開催

【和歌山森林管理署】6月3日（日）、紀泉高原（きせんこうげん）国有林（和歌山県和歌山市）において、和歌山県勤労者山岳連盟主催による「第38回クリーンハイク」が70名の参加のもと開催され、当署からも3名が参加し汗を流しました。

クリーンハイクは、毎年行われているもので、一人ひとりがゴミ袋と火バサミを手に登山道入口から入山し、小さなゴミも見逃すことのないよう歩道周辺を隈なく見渡し、一つ一つ丁寧に拾いながら、約3時間かけて頂上まで登りました。

参加者は、「年々ゴミは減少しているように思えるが、まだまだ山からゴミがなくなる。これからもゴミゼロを目指して頑張りたい!」と流れる汗をタオルで拭いながら笑顔で話してくれました。

山頂に到着後、当署業務第一課長が「当連盟の日頃の活動に対する謝意と台風12号被害の復旧に全力を挙げて取り組んでいる」旨の挨拶を行い、最後に山岳連盟から「これからも山を愛し、身近な自然を護り、次世代に誇れるふるさとの山を私たちの手で育てましょう!」と挨拶があり、すべての作業を終えました。



和歌山県勤労者山岳連盟の皆様

### 林野庁長官から感謝状 「大山森林生態系保護地域保全管理協力員会」

【鳥取森林管理署】6月24日(日)、鳥取県米子市において、「平成24年度大山森林生態系保護地域保全管理協力員総会」が開催されました。

大山森林生態系保護地域は、全国的に年々原生的な森林が減少するなかで、国有林に現存する貴重な天然林を保全するため、平成4年1月に指定されました。

これを契機に同年、ボランティアで登山者への指導や説明等を行う保全管理協力員

制度が全国で初めて導入され、大山周辺の地理・地形・地質等に詳しい地元研究者など10名の協力員が誕生



しました。協力員は、20 大山・三の沢ブナプロット調査年に及ぶ活動のなかで、通常のパトロール以外にもブナの発芽試験や生長量調査なども実施し、大山森林生態系保護地域への科学的アプローチに足跡を残しました。

このような活動が認められ、このほど林野庁長官から感謝状が贈呈されました。贈呈式では、塩永鳥取森林管理署長から協力員代表の鷺見(すみ)寛幸さんへ感謝状が手渡されました。

鷺見代表は、「20年間に活動が及んだということは感慨深い。これからも皆で協力して活動したい。」と感想と抱負を述べられました。



感謝状贈呈式

### 遊々の森「名称：森の幼稚園ひかり」 で森林教室を開催(大亀谷国有林)

【奈良森林管理事務所】6月30日(土)に、遊々の森の協定を締結しているひかり幼稚園が、遊々の森「森の幼稚園ひかり」において、年長園児を対象に森林教室を開催しました。ひかり幼稚園では、園児達に森林や自然を大切にする気持ちを育てることを目的に、保護者と一体となり、幼稚園から近く入林しやすい大亀谷国有林(奈良市)をフィールドとして、森の中で自然とふれあうなどの活動を行っています。

当日は、年長園児45名と保護者が参加し、当所担当者が森の中での注意事項を説明した後、「フィールドパターン」や「葉っぱじゃんけん」、「自然大好き大事探し」などのネイチャーゲームを通して、自然の中にある様々な形や模様を探したり、集めた葉の形や大きさを比べることにより自然の多様性を肌で感じるとともに、動物や昆虫との関わりなどについて学びました。

園児達は、友達やお父さんお母さんと一緒に森の中にある様々な形や模様を探すため、色々な角度から観察し大人が気づかないような形や模様を探し当て、担当職員を驚かせていました。また、動物と植物のつながりにも興味を示し、お父さんやお母さんとまた一緒に来たいなどの感想も聞かれ楽しい一時を過ごすことができました。



参加者(親子)全員で記念撮影

大きな葉っぱ見つけたよ!

### 第1回「公共施設等木材利用促進 のための研究会」開催

【広島北部森林管理署】6月25日(月)第1回「公共施設等木材利用促進のための研究会」を開催しました。

研究会には広島県庁林業課、広島県林業技術センター(三次市)並びに三次市、庄原市、安芸高田市、神石高原町の林務担当課、住宅建築等を中心とした関係課及びオプザーバーである広島インテリア協議会(事務局:広島市)、当署の職員合わせて18人が出席しました。

冒頭、富田署長から「公共建築物等木材利用促進法」が平成22年5月に成立し同年10月に施行され、現在全国の市町村において木材利用方針の策定を進めている

ところですが、広島県では法律施行後の策定率は4%となっており、本研究会が地域の木材利用促進の一助になることを切望します」と挨拶がありました。

同研究会は、平成22年10月に施行された公共建築物等木材利用促進法に規定する市町の区域内の公共施設等における木材利用の促進に関する方針作成に向け、同署が



関係市町職員との研究会

管轄する三次市、庄原市、安芸高田市、神石高原町の3市1町に係る木材利用の情報共有及び意見交換等を行い、情報発信していくこととしています。

7月以降、当研究会では、昨年度竣工した備北地域の公共施設及び同地域の今年度工事予定の公共施設の現地視察、関係者との意見交換含め3回の検討を経て、年内に公共建築物の木造・木質化建築物の木材利用促進についての提言をまとめることとしています。

## お知らせ

### 「オオクワガタの棲める森づくり」 下刈り体験イベント～参加者募集中～

- 開催日時 8月21日(火)10:40～14:45(測樹・木工体験含む)
- 開催場所 エキスポ'90みのお記念の森(箕面国有林)
- 対象 小学4年～6年生(保護者同伴)
- 募集人員 30名(小学生)
- 募集期間 7月9日(月)～7月20日(金)  
(応募者多数の場合は抽選)
- 申込方法 ホームページをご覧ください。(電話またはFAX)  
[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/ookuwagata-mori/new/sitagari.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/ookuwagata-mori/new/sitagari.html)
- 参加費用 保険料として1人当たり100円必要です。
- 問い合わせ 箕面森林環境保全ふれあいセンター  
TEL06-6881-2013 FAX06-6881-2055

### 全国子どもサミット in 京都 傍聴参加者を募集中

- 開催日時 8月6日(月) 13:00～17:50
- 開催場所 知恩院和順会館(京都市東区)
- 目的 全国から募りました小学生による学校林や遊々の森を使って、遊びや観察などの楽しい森の体験活動を発表します。
- 募集定員 80名(どなたでも参加できます。)
- 応募方法 ホームページをご覧ください。  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/kodomosummit.html>
- 問い合わせ 全国子どもサミット in 京都実行委員会事務局  
(近畿中国森林管理局) TEL 050-3160-6751 FAX 06-6881-3564

## グループ対抗里山デジカメ選手権

### ～身近な森林の再発見～

里山の現状や役割を多くの人に伝え、そして荒廃した里山を再生させるためには、地域の人々を含む幅広い国民の参画を得ることが重要な課題です。

このため、近畿中国森林管理局では、里山の再生・整備や森林環境教育の推進などに資するため、今年度も「身近な森林(もり)の再発見!!」をテーマとして、下記のとおり「グループ対抗里山デジカメ選手権」を実施します。

募集する作品は、里山に代表される身近な森林を対象として、森林の中に暮らす動植物や森林づくり作業・森林環境教育活動などの一瞬を切り撮った写真とします。

記

1. 募集締切 平成24年9月28日(金) 必着
2. 応募規定
  - ①～③のジャンル毎に、グループを単位とした3枚組写真(2～3名で1グループ)
  - ① 学校関係グループ(小学校～高等学校)
  - ② 森林・林業に関する活動グループ(NPO法人等)
  - ③ 一般グループ(①②以外のグループ、家族もOK)
3. 写真 A4版カラー印刷(デジタル写真のみ)3枚1組
4. メッセージ  
作品(3枚1組)に対して400～600字程度の事象の意味や背景、あるいは被写体と森林との関係や里山への想い、活動などに関するメッセージを添付(様式は任意)
5. お問い合わせ 箕面森林環境保全ふれあいセンター  
TEL 06-6881-2013  
FAX 06-6881-2055
6. その他 詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。  
[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/satoyama/dejikame/dezikame-senshuken-24.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/satoyama/dejikame/dezikame-senshuken-24.html)



平成23年度の優秀作品

## もりの森林のギャラリー(局庁舎1階)

### 【展示スケジュール】

7/13～7/27

事業紹介 親子で作る学習机

【高島森林体験学校】

7/28～8/4(土曜日、日曜日も開催)

ドールハウス五番街作品展 in 大阪

【ドールハウス五番街】